

# 八方尾根レポート Q & A

## Q 高山のお花が多く、大きな木がないのはなぜ？

**A** 【八方の特殊な地質・植生の逆転現象とは!?】  
特殊な【蛇紋岩】と呼ばれる地質により、黒菱平から八方池上部付近まで、本来標高2500m以上の高山でしか見られない低木林や希少な花々が咲き、八方池上部より上になると、標高が高くなるにもかかわらずダケカンバ林が現れます。(下ノ樺・上ノ樺)このように通常は現れないはずの低い標高に高山植物が生育し、高い標高にダケカンバ林が生育している逆転現象が八方尾根の特徴です。

また半年間もの間、3~4mにもおよぶ雪の下で、厳しい寒さの環境を耐えた貴重で豊富な高山植物をすぐ足下に見ることができます。



【本来の山】



【八方尾根】

## Q 八方尾根に咲く固有種とは？

**A** 八方尾根は通常 mountain peaks で見られる高山植物の数よりはるかに多い347種もの高山植物が自生しています。その中には、ハッポウと名が付く八方尾根の固有種があるので探してみてください。※国立公園内の植物保全にご協力ください。



### ハッポウ タカネセンブリ 花期7~8月

淡紫色で濃い紫色の斑点があり、4裂した7~10mmほどの可愛い花。葉の大きさは2~3cmで柄が無く、背丈が10~40cm。

【主に見られる場所 八方池 東側付近】



### ハッポウ ワレモコウ 花期7~9月

小さな花が密集して上から下へ咲いていく。花からは長い雄しべが飛び出し、3~5cmと長い。背丈が50~100cm。通常のワレモコウとは飛び出ない点で区別できる。

【主に見られる場所 八方池 北側ベンチ付近、黒菱平】



### ハッポウ ウスユキノソウ 花期6~7月

黄色い丸い部分が小さな花の集まりになっている。茎の上部の葉が白く綿毛をかぶって全体が1つの花のように見える。葉が斜めに伸びているのが特徴で、ミネウスユキノソウより葉が細い点で区別できる。【主に見られる場所 石神井ケルン付近】



### ハッポウ アザミ 花期8~10月

赤紫色で横から下向きに2~3cmの大きさで頭花が一つだけ咲く。背丈が40~100cm。一見オニアザミにも似ているが、長い枝の先に一つずつ横から下向きにつく点で区別できる。【主に見られる場所 第2ケルン付近】

## Q おすすめビュースポットは？

**A** 『オープンテラス』『雲海デッキ』から望む日本百名山ビュースポット! 白馬岳、五竜岳、鹿島槍ヶ岳、雨飾山、火打山、妙高山、高妻山、四阿山、浅間山、ハケ岳、美ヶ原の日本百名山11峰と、焼山、戸隠山、飯綱山、横手山の山々を眺めることができますので、ハイキングの途中にぜひパノラマ風景をお楽しみください。山のことはお気軽にスタッフにお声かけください。

雨飾山 焼山 火打山 妙高山 高妻山 戸隠山 飯綱山 横手山

## Q 岩がゴロゴロしているのはなぜ？

**A** ゴロゴロした岩は特殊な【蛇紋岩】です。蛇紋岩は本来地表に現れませんが、八方尾根は雨や強い風を受ける環境により、地表に現れている珍しいエリアです。

蛇紋岩は粘土質のためにもろく崩れやすいので、ゴロゴロした道になっています。雨の日など岩が濡れているところは滑りやすいので、ご注意ください。



## Q 『蛇紋岩』ってどんな岩？

**A** 蛇紋岩(超塩基性岩)は「かんらん岩」などの超塩基性岩が蛇紋石化によって生成したもので、紙を重ねたように見える葉片状の部分と、塊状の部分がみられます。表面がヘビの皮の模様に見えることから蛇紋岩と呼ばれ、マグネシウムや鉄などを多く含む岩石です。水分を含むと破砕、風化しやすく粘土質となり、土壌間の結合が弱いために、地層の流動を起こしやすいのです。また、マグネシウムの成分が植物の水分吸収能力を低下させることから、乾燥に耐えられるアカマツ林や、根の浅いツツジ科植物の群落になることが多く、生存競争が低いことも加わって特有の固有種が生育するなどの特徴があります。



【葉片状の蛇紋岩】



【塊状の蛇紋岩】

## Q 尾根の中腹に水を湛える『八方池』とは？

**A** 八方池は雪に押し流された土砂の堆積でできた池で、雪解け水や雨水によって自然が造り出した神秘的な天然池! 水深は最も深いところで4.4mほどで、八方池の周りには種類豊富な高山の花々が咲き、サンショウウオやモリアオガエルも生息しています。

中部山岳国立公園にも指定されているので、希少な自然の保護を心がけましょう。



## Q 白馬村天然記念物『ギフチョウ』って？

**A** 八方尾根には白馬村の天然記念物に指定されている、春の女神といわれるギフチョウが飛来してきます。ギフチョウが標高2000m付近で見られる事は珍しく、これはギフチョウの食草であるミヤマアオイが標高1800m付近まで分布している為です。日本における分布の最高地点ともいわれ、生息を可能にしているのは、深い積雪が関係しているようです。



ハケ岳連峰 美ヶ原

